

6.22 歷史的・文化的環境

資料編 6.22 歴史的・文化的環境 目次

〔文献その他の資料調査〕

表-6.22.1	久志の観音堂(名護市指定有形民俗)……………	資 6-22-1
表-6.22.2	瀬嵩さんたち原のハル石(名護市指定史跡)……………	資 6-22-1
表-6.22.3	大浦のマングローブ林(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-2
表-6.22.4	安部拝所のガジマル(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-2
表-6.22.5	大浦のイチョウ(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-3
表-6.22.6	大浦アサギ庭のガジマル(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-3
表-6.22.7	旧古知屋(現松田区)組踊写本6冊(宜野座村指定有形民俗)…	資 6-22-4
表-6.22.8	松田の馬場及び松並木(宜野座村指定史跡)……………	資 6-22-4
図-6.22.1	安部区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等……………	資 6-22-5
図-6.22.2	汀間区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等……………	資 6-22-6
図-6.22.3	瀬嵩区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等……………	資 6-22-7
図-6.22.4	大浦区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等……………	資 6-22-8
図-6.22.5(1)～(2)	辺野古区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等 ……………	資 6-22-9～10
図-6.22.6	豊原区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等……………	資 6-22-11
図-6.22.7(1)～(2)	久志区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等 ……………	資 6-22-12～13
図-6.22.8(1)～(2)	松田区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等 ……………	資 6-22-14～15

〔現地調査〕

表-6.22.9	久志の観音堂(名護市指定有形民俗)……………	資 6-22-16
表-6.22.10	瀬嵩さんたち原のハル石(名護市指定史跡)……………	資 6-22-17
表-6.22.11	大浦のマングローブ林(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-18
表-6.22.12	安部拝所のガジマル(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-19
表-6.22.13	大浦のイチョウ(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-20
表-6.22.14	大浦アサギ庭のガジマル(名護市指定天然記念物)……………	資 6-22-21
表-6.22.15	旧古知屋(現松田区)組踊写本6冊(宜野座村指定有形民俗) ……………	資 6-22-22
表-6.22.16	松田の馬場及び松並木(宜野座村指定史跡)……………	資 6-22-23
図-6.22.9(1)～(9)	御嶽・拝所等の状況(その1～9)……………	資 6-22-24～32
図-6.22.10	安部区の伝統行事の様子……………	資 6-22-33
図-6.22.11(1)～(2)	汀間区の伝統行事の様子……………	資 6-22-34～35
図-6.22.12	瀬嵩区の伝統行事の様子……………	資 6-22-36

図-6.22.13	大浦区の伝統行事の様子	資 6-22-36
図-6.22.14	辺野古区の伝統行事の様子	資 6-22-37
図-6.22.15	豊原区の伝統行事の様子	資 6-22-38
図-6.22.16(1)～(2)	久志区の伝統行事の様子	資 6-22-39～40

6.22 歴史的・文化的環境

(1) 文献その他の資料調査

表-6.22.1 久志の観音堂（名護市指定有形民俗）



名称	久志の観音堂	指定	名護市指定
種別	有形民俗文化財	指定年月日	昭和62年7月15日
所在地	名護市字久志 369	所有者、保持団体	久志区
解説	<p>久志集落の東方の高台に、久志の古島跡あるいはアタイとも呼ばれるところがあり、観音堂はそこに建っています。</p> <p>「球陽」によると、「尚経（豊見城王子朝良）・顧思敬（久志親方助豊）、総地頭たるの時、観音石像を請来し、其の宮を久志邑に創建して之れを其の中に奉安し、以て崇信を為す。此より跡、村中の人民、毎月朔・望・一八日・念三日に、皆此の寺に到りて祈す」とあります。</p> <p>現在は、旧暦の1月18日と9月18日の2回が集落でウグワンする日です。ほかには個人で旅立ちの安全祈願や合格祈願のときに観音堂に参拝する慣わしがあります。また、集落外からの参拝者もいます。</p> <p>資料：名護市HP<http://www.city.nago.okinawa.jp/1/162.html></p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成20年3月></p>		

表-6.22.2 瀬嵩さんたち原のハル石（名護市指定史跡）


名称	瀬嵩さんたち原のハル石	指定	名護市指定
種別	史跡	指定年月日	昭和58年3月23日
所在地	名護市字瀬嵩 403	所有者、保持団体	個人所有
解説	<p>ハル石（印部土手石）は、今から約250年前の蔡温時代に行った元文検地（1737～1752年）の際、土地測量に使った図根点です。もともとは、径1間程の根石をもつ土塚の上に建てられていましたが、土手を残すのは県内でも少なく、市内ではこのハル石を含めて数カ所に土手が残っているだけです。特にこのさんたち原のハル石は保存状態が良好です。このハル石の表面には、「さんたち原 ね」と刻まれています。</p> <p>資料：名護市HP<http://www.city.nago.okinawa.jp/1/164.html></p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成20年1月11日></p>		

表-6.22.3 大浦のマングローブ林（名護市指定天然記念物）



名称	大浦のマングローブ林	指定	名護市指定
種別	天然記念物	指定年月日	平成7年10月20日
所在地	名護市字大浦 418-1、418-2	所有者、保持団体	名護市
解説	<p>大浦のマングローブは、大浦川河口部より上流に400mから700mの範囲で生育しており、幅は200mから250m程度です。主な構成種はメヒルギとオヒルギであり、種類数こそ少ないですが、面積、保存状況の点では良好な林であり、貴重なものです。</p> <p>資料：大浦マングローブ林の案内看板 名護市 HP<http://www.city.nago.okinawa.jp/3/2203.html></p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成19年9月14日></p>		

表-6.22.4 安部拝所のガジマル（名護市指定天然記念物）


名称	安部拝所のガジマル	指定	名護市指定
種別	天然記念物	指定年月日	平成16年1月28日
所在地	名護市字安部 7、125-3	所有者、保持団体	安部区
解説	<p>安部拝所のガジマルは、安部区集落内の拝所背後の御嶽林の中にあります。根が3~5m範囲で露出し、大きい根は板根状になっています。幹はほぼまっすぐ伸び、4~5mで多数に分枝し、ほぼ円形状に四方に枝を広げています。5m高まで幹に巻きつく気根は多いですが、垂下根は多くありません。周囲5mほどの円形範囲に生育するフクギ10本ほどを絞めつけています。推定樹齢は200年です。</p> <p>資料：「名護市の名木」（昭和63年、名護市教育委員会）</p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成19年10月14日></p>		

表-6.22.5 大浦のイチョウ（名護市指定天然記念物）



名称	大浦のイチョウ	指定	名護市指定
種別	天然記念物	指定年月日	平成 18 年 2 月 15 日
所在地	名護市字大浦 131	所有者、保持団体	個人所有
解説	<p>大浦のイチョウは大浦区集落内の屋敷跡の南東隅に生育します。幹はほぼまっすぐ伸び、枝下高 3m、途中萌芽が多いです。4m 高で 3~5 に分岐し、主幹不明となります。大径~小径枝から多数の萌芽が発生しています。推定樹齢は 90 年です。</p> <p>資料：「名護市の名木」（昭和 63 年、名護市教育委員会）</p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成 19 年 10 月 12 日></p>		

表-6.22.6 大浦アサギ庭のガジマル（名護市指定天然記念物）



名称	大浦アサギ庭のガジマル	指定	名護市指定
種別	天然記念物	指定年月日	平成 18 年 2 月 15 日
所在地	名護市字大浦 144	所有者、保持団体	大浦区
解説	<p>大浦アサギ庭のガジマルは、大浦集落センター広場の西縁に生育します。</p> <p>幹は全体的に東に傾いています。南東に 2m 隔てて垂下した気根が大径木のフクギを絞めつけ、もとの幹とほぼ同じ太さに発達し 5m 高で連結しています。幹は 2m 高さで 2 分岐し、そのうち 1 つが上部樹幹を形成しています。垂下気根はわずかで、多くの気根は幹や枝に巻きついていきます。推定樹齢は 110 年です。</p> <p>資料：「名護市の名木」（昭和 63 年、名護市教育委員会）</p>		
現地踏査 写真、 位置図	  <p style="text-align: right;"><撮影日：平成 19 年 10 月 12 日></p>		

表-6. 22. 7 旧古知屋村（現松田区）組踊写本 6 冊（宜野座村指定有形民俗）




名称	旧古知屋村（現松田区）組踊写本 6 冊	指定	宜野座村指定
種別	有形民俗	指定年月日	昭和 59 年 2 月 27 日
所在地	字松田 1	所有者、保持団体	松田区
解説	<p>この台本は、組踊「本部大主」等で演じられている台本であり、1818 年に古知屋（旧松田の部落名）の二才中（にいせーちゅう）らによって書かれた台本を基にしています。組踊「本部大主」は松田区の十五夜アシビとして旧暦 8 月 13 日（スクミ）・14 日（正日）・15 日（ワカリアシビ）の日に 1 年おきに行われ、神に豊作と次の豊作を祈る豊年祭で披露される組踊です。この台本は、世界で一番古い組踊本であるとされています。</p> <p>資料：宜野座村立博物館</p>		
宜野座村立博物館提供写真、位置図		 <p>資料：宜野座村立博物館</p>	

表-6. 22. 8 松田の馬場及び松並木（宜野座村指定史跡）

名称	松田の馬場及び松並木	指定	宜野座村指定
種別	史跡	指定年月日	昭和 59 年 2 月 27 日
所在地	宜野座村字松田 2261	所有者、保持団体	宜野座村・松田区
解説	<p>松田の馬場及び松並木は、宜野座村松田区に位置し、現在は村立松田小学校の敷地になっています。松田の馬場は、1878 年頃に、汀良タンメーと称する人によって農村娯楽施設の一つとして造成されたと伝わっています。規模は、東西約 250 メートル・横約 25 メートルで、周囲に盛土を築きその上に松を植林して競馬の見物場が造られていました。明治の末期頃まで、旧 4 月の「畦払い」の日に、馬を飼っている人が、裸馬にまたがって集まり、にわか競馬が行われていました。現在、沖縄島で当時の面影を伝えるのは、今帰仁村「仲原馬場」と「松田の馬場」のみです。</p> <p>資料：宜野座村立博物館</p>		
現地踏査写真、位置図		 <p><撮影日：平成 19 年 5 月 30 日></p>	


① リトヤシキ		② アサギ	
③ 根神屋		④ ウニボーヤー	
⑤ タキヌファナ		⑥ イーヌシマ	
⑦ ハナリワタイ		ハーリーの場	
並み フクギ並木（歴史的街）			

図-6. 22. 1 安部区内の伝統行事の場及び歴史的町並み等










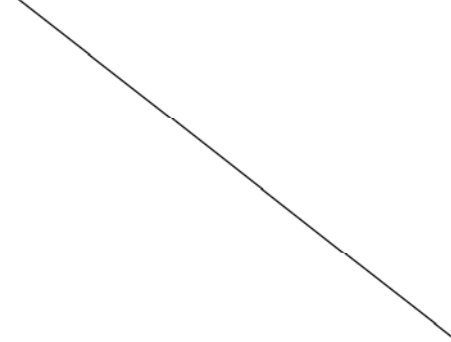
<p>① ウタキグワ</p>		<p>② チンガ</p>	
<p>③ イズミガ</p>		<p>④ イリギツチャ</p>	
<p>⑤ カニマンガ</p>		<p>⑥ ウエンチュビラシ</p>	
<p>⑦ ウプウタキ</p>		<p>フクギ並木 (歴史的街並み)</p>	
<p>ウマバ跡 (歴史的街並み)</p>			

図-6.22.2 汀間区内の伝統行事の場及び歴史的街並み等




<p>① ウミンゲワ</p>		<p>御嶽 ② シダキウタキ (瀬嵩)</p>	
<p>③ 本殿</p>		<p>④ 金丸殿内</p>	
<p>⑤ アサギ</p>		<p>⑥ 根神殿内</p>	
<p>⑦ クガニムイの 拝所</p>		<p>ウマバ跡 (歴史的街並 み)</p>	
<p>フクギ並木 (歴史的街 並み)</p>			

図-6. 22. 3 瀬嵩区内の伝統行事の場及び歴史的街並み等

<p>① 根神家（大浦公民館 拝所）</p>		<p>② アサギ</p>	
<p>③ ウイヌヤーヌカー</p>		<p>④ ツンギヤ</p>	
<p>⑤ ウフガー</p>		<p>⑥ 大浦之御嶽（大浦の 嶽）</p>	
<p>フクギ並木（歴史的街並み）</p>			

図-6. 22. 4 大浦区内の伝統行事の場及び歴史的街並み等